



合志の旋風 ^か ^ぜ ～自律貢献～

令和7年7月4日（金）No 13 発行
文責：松本 卓也

確かな学力の育成に向けて Part1 ～学力調査編～



4月10日（木）・11日（金）に実施しました CRT 標準学力調査の結果についてお知らせします。※4月17日（木）実施の全国学力・学習状況調査（3年生対象）の結果は、2学期にお知らせします。

	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	△	△	△	△	△
2年生	△	▼	△	▼	▼
3年生	≒	≒	△	△	▼

※全国平均正答率に対し
「プラスを△、マイナスを▼
同等を≒」で表示

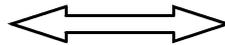
調査結果から、本校生徒の学習状況は概ね良好である一方、3年生の英語、2年生の社会、理科、英語に課題があることがわかりました。夢を実現するための礎となる「確かな学力」の育成に向け、**①授業改善**と**②学習習慣の育成**に、さらに力を入れていきたいと思えます。

具体的には、①授業改善では、「熊本の学び推進プラン」や合志中学校区で取り組んでいる「授業を KOSHI 体」、「し合い・しない学習」をすべての授業で実践し、校内研修で検証・改善しながら全職員での取組を進めていきます。②学習習慣の育成では、帰学活前の合志タイムで自ら学習計画を立案し、決まった時刻（あるいは一定の時間）に学習する取組を、ご家庭での支援をいただきながら継続して取り組んでいきます。ご家庭でのお子様の学びの姿について、保護者の皆様の側面からの支援（ペースメーカー・サポーター・ファシリテーター）をお願いいたします。

連携

学校

家庭



【授業と家庭学習をつなげる】

- 授業中に家庭学習につながる声かけをしたり、学習内容等を示したりする。
- 生徒自身が更なる問い（もっとやってみよう）を見つけられるような声かけを行う。
- 学校で、その日の学習内容について計画を立てさせる。（合志タイム）
- 【やる気を引き出す】
- 個に応じた家庭学習を出す。（eライブラリ）
- 頑張りを認める。次につながるアドバイスをする。



「家庭ではどのようなことをすればいいか？」方法や内容等を具体的に支援

引用：「熊本の学び推進プラン」
家庭学習のポイント（学校編）
熊本県教育委員会



【ペースメーカー】

- 学習を促したり、生活環境を整えたりすることで、規則正しい学習や生活の習慣形成を支援する。
- 【サポーター】
- 子どもが学習から逃げたくなったり、自信をなくしたりしたときに、アドバイスしたり話し相手になったりして、心の支えになる。
- 【ファシリテーター】
- 教材の準備や学習スペースの確保、静かな時間の保障などの条件整備を通して、良好な学習環境を構成する。



家庭学習の効果を高める学習環境等、側面からの支援

引用：「家庭学習を習慣化することで育つ
自己マネジメント力を生涯の宝に」
田中博之 早稲田大教職大学院教授
VIEW21 小学版 2013 Vol.3

合志中生、躍動！！ ～郡市中体連Part2～

6月28日（土）、29日（日）に開催された郡市中体連夏季大会では、選手のプレイはもちろん、仲間の背中を押す温かな応援にも感動しました！



軟式野球部：優勝
男子バレーボール部：3位
女子バレーボール部：2回戦敗退（VS 武蔵ヶ丘中）
男子卓球部：団体3位、個人戦ベスト8
女子卓球部：団体優勝
シングルス準優勝 2年Kさん 3位 3年Kさん

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）